

Chapter 10

アパート選びと生活

10.1. はじめに

筑波大学における居住形態の(おそらく)最大勢力^{*1}が、アパート暮らしです。「陸の孤島」とも揶揄される筑波大学にやってきた多くの新入生は、必要性ゆえに学生宿舎かアパートに入居することになります。

これをお読みのほとんどの皆さんは、既に学生宿舎かアパートか宅通かを決めていると思いますので、ここからは様々な理由で宿舎/宅通^{*2}からアパートに移る人に向けての解説となります。今は頭の片隅に置いておいていただいて、春学期終わりくらいに、「アパートに移ろうかな?」と思ったときに思い出していただければ幸いです。

10.2. アパート暮らし、メリットとデメリット

それではまず、アパート暮らしのメリットを見ていきましょう。メリットは以下のような感じです。

1. 部屋が広い!
2. 綺麗^{*3}!
3. 自分専用のキッチン・洗濯機・トイレがある!
4. 壁が厚い^{*4}!
5. お店や友達の家に行くのに便利^{*5}!

1つ目は言わずもがな、地味に大切なのが3個目~5個目です。これは宿舎からアパートに引っ越した人や宿舎に今も住んでいる人から聞いたことなので、たぶん間違いありません。

また、これは宅通と比べても言えることですが、全般に「自由!」という感じ^{*6}がします。一方で、自由が大きいということは、責任^{*7}やらかかるお金やらが多くなってしまうということも意味します。そういった背景があるのでデメリットは以下ようになります。

1. 家賃が高い
2. ライフライン(ガス・水道・電気)代^{*8}がかかる

1 入学当初こそ安さ重視の宿舎勢力や自宅からの通学勢力が多いですが、時間が経つにつれて少なくない人々がアパート暮らしへ移行します

2 自宅からの直接通学のことをこう呼び、別表記では多苦痛と書いたりします

3 多くの場合...ね

4 多くの場合2

5 立地によりますが、生物学類生が配属される学生宿舎はガチの孤島なのでほとんどの場合がこれに当てはまります

6 特に、自分の家に他人を呼び放題というのはとても大きいです

7 間違っても警察のお世話になったりはしないように...

8 学生宿舎はガスと水道は完全無料、電気代もどれだけ使ってもひと月300円程度と超格安です